

奥武蔵

462

奥武蔵研究会

2025年(令和7年)10月



宝登山神社奥宮の山犬像「お寒うござんす」

撮影：加藤恒彦氏

山を想う心

小泉 重光

今夏、日本列島では異常に暑い日々が続き、日常生活においてもエアコン無しでは支障を来すのではないかと思うほどでした。実際に、都心部では日傘をさして歩いている人も多く、道路の輻射熱だけで日焼けをしてしまいそう。今後は地球温暖化の影響により、このような暑い夏が毎年続くという説もありますが、低山や丘陵地帯でなる奥武蔵や秩父をメインフィールドとする私たちにとっては、あまり嬉しくない話と言えるでしょう。とはいえ、今号が皆さんの手元に届く頃には秋風の吹く季節となっているはずですから、しっかりと準備をして里山歩きの最適シーズンを迎えていただければと思います。

さて、巻末の「訃報」でもお知らせしていますが、長く委員として活躍いただき、また会報誌上において毎号のように誌面を賑わしていただいた町田尚夫氏が95歳で永眠されました。それは余りにも突然のことと、図らずも前号にて掲載させていただいた「畏友・藤本一美さんを偲ぶ」が町田氏の遺作となってしまうわけです。

町田氏が会報に初めて寄稿されたのは300号(平10/1998)からで、以来精力的に寄稿されて論考や山行報告、また奥武蔵情報などを含めると、200篇に及ぶ作品やレポートを発表されています。また、山行のみならず集会などの企画にも積極的に参加していただき、会発展のために多大なるご尽力をいただきました。

先日、町田氏が会報誌上に記したレポートを片手に、北武蔵の山を巡ってみました。町田氏はコースの紹介にあたり、歴史や文化に至るまで詳細に報告されていますので、実際にレポートを携えて歩いてみるとこれほど強い味方ありません。そして、何より山を想う心に溢れているように感じています。

また一人、奥武蔵を愛した岳人がこの世を去ってしまった事を悔やみつつ、町田氏のご冥福を心よりお祈りいたします。

目次 第462号 令和7年10月

山を想う心	小泉 重光	表2
両神山に前田夕暮の足跡を尋ねる	加藤 恒彦	1
鐘撞堂山の山麓に分布する古代窯跡	坂口 由加里	4
猪俣の百八燈	吉田 美知子	5
奥武蔵・秩父の万葉歌碑を訪ねて その二	中塚 智恵美	6
町田さんの声が聞こえる	加藤 恒彦	9
研究会のお宝、 町田尚夫さんの逝去を悼む	成川 茂雄	10
四寸道逍遙	小泉 重光	11
伊豆が岳から天目指峠へ	梅津 準士	12
弓立山	星野 克典	12
千馬山城跡(龍ヶ谷城跡)	吉田 美知子	13
巾着田から宮沢湖	大川 満代	14
山行集会「影森養蚕所見学」	梅津 準士	15
鉄五郎新道から大塚山	湊 祐二郎	15
三峯神社探訪と植生観察会	村木 悦子	16
山行計画	会務報告	20
山行集案内		18、20

奥武蔵 第 462 号
令和 7 年 10 月 1 日発行

発行所	編集者	印刷所
小泉重光	小泉重光	株又ーベル社
奥武蔵研究会	加藤恒彦	成川茂雄
〒175-0092 東京都板橋区赤塚7-18-7		